

第3分科会 飛騨地区 下呂市 「教育環境整備に関する課題」

質問

放課後の学習支援ソフトによる支援は興味深いのですが、この対応のために教員の放課後の時間が取られて、負担につながっていないのか、もう少し運用方法について知りたい。(西濃地区 小学校)

保護者相手に「働き方改革」を理由に掲げると、「それは学校側の都合であって共働きで苦しい生活を強いられている家庭の都合は、考えてくれないの？」と反発がありそうで、気が引けると感じています。下呂市ではどのようにして地域、保護者に働きかけてこれを実現したのか詳しく知りたいです。(岐阜地区 小学校)

保護者や地域の理解を得るための方法(岐阜地区 小学校)

保護者の方や地域の方で反対の声がなかったのかどうか。また、あった場合はどのようにわかっていただけたのか知りたいです。(飛騨地区 中学校)

部位活動をもっとしたという生徒の受け皿はどうなっているのか。地域クラブ?(飛騨地区 小学校)

表裏一体の部分があるので、「教員の資質向上の取組」について、市内で共通なもの等あれば、教えていただければと思います。(岐阜地区 中学校)

年間16:30下校の固定とするにあたり、PTAとの協議はどのように進めたのか。下校後の学習支援ソフトを用いての双方向通信での学習サポートは、職員の負担につながらないか。(東濃地区 小学校)

日課の見直しにより、授業時間が削減されました。3年生の年間授業時数のゆとりが10時間程度とありましたが、コロナやインフルエンザ等の学級閉鎖や、警報発令による臨時休業などに、どのように対応されているのでしょうか。(岐阜地区 中学校)

日課の見直しについて、週に3日間5時間授業となっていますが、その日課で標準時数をどのように確保するのか知りたいと感じました。(美濃地区 中学校)

中学校では休日の部活動はどうなっていますか?超過勤務の課題になっていませんか?(西濃地区 中学校)

中3の必要授業時間数を満たせないと思われませんが、他に工夫されていることはありませんか(岐阜地区 中学校)

地域や保護者へは、下校時刻を早めることについて、実施するまでにどのような方法で理解を得たのですか?(飛騨地区 中学校)

地域との連携で奉仕活動があがっていましたが、地域スポーツを含めて他の地域の受け皿は、市として準備されたりしているのでしょうか。(飛騨地区 小学校)

担任の熱意と労務管理の両立。低学力生徒への双方向の学習サポートは、具体的にどの程度、どのようなことを行っているのか。本市でも欠席生徒へのフォローが時間外勤務の要因となっており、このバランスが難しいと感じている。(東濃地区 中学校)

大変優れた仕組みですが、草案をどのように作られたのか。そして、それをどう具体化していったのかを知りたい。(岐阜地区 小学校)

生徒の帰ったあとの時間の有効活用のために、CSや民生委員など多くの立場の方のご理解とご協力が必要だが、どのような段階を踏んで協力を得ることができるようになったのか。(岐阜地区 小学校)

週27時間で標準時数を確保するためにどんな工夫をしたのか?小学校ではどんな取組がされているのか?(美濃地区 小学校)

実際に困って見える事は何ですか。(岐阜地区 小学校)

自分でやりたいことを見つけれない生徒への支援や指導等を具体的に聞いてみたいと思いました。また地域への職場体験の依頼や生徒がどのように体験先を探したのかなど具体的な過程を聞いてみたいと思いました。(飛騨地区 中学校)

資料を見ると、「毎日6時間授業」を、「2日6時間、3日5時間授業」のように見えましたが、時間数は確保できているのでしょうか。(東濃地区 小学校)

見直し後の日課では、5時間授業の日が、1週あたり3日ありました。現在、本校では1日です。これを3日にすると、 $-2 \times 35 = -70$ 時間分で、かなりの時間数が削られますが、どのように教育課程を見直すことで授業時間の確保をされたのかを詳しく教えていただきたいです。(西濃地区 中学校)

教頭発信で4時30分下校に一齐に決めることは難しくなかったですか？(可茂地区 中学校)

教頭会と校長会のやりとりや教頭会での取組方途の検討・決定・詳細の詰めなど、どのくらいの時間がかかりましたか？(岐阜地区 小学校)

基本、5時間授業となっていますが、時数確保のため、帯時間の設定やその他授業の工夫はありますか。(岐阜地区 小学校)

会議・研修等の時間はどのように生み出しているのか、知りたいです。(西濃地区 小学校)

課題にもありました生徒や保護者とお互いに理解し合いながら丁寧に進めていく手段が今あれば教えていただきたころです。生徒や保護者のアンケートの少数なのが気になります。生徒のよくない、保護者の不満である、の回答に真剣に向き合う必要があります。(飛騨地区 小学校)

下呂市内の中学校の取組を受けて、小学校ではどのような動きがあるのかを知りたいです。(岐阜地区 小学校)

下呂市の取り組みを勤務校でも真似ています。下校時刻を16:30分にしました。他にも働き方改革につながることは思いつくまま、実践することに努めています。(飛騨地区 中学校)

下呂市が一齐にこの取組ができたことは、まず管理職(校長・教頭)の間での共通理解が必要だと思えますが、誰がどのように進めてこられましたか？高山市においても部活動改革に取り組んでいますが、部活動に力を入れたい校長もあり、中体連の影響が大きく、調整に苦慮しているように思えます。そういった課題はどのように克服されたのでしょうか？(飛騨地区 小学校)

下校時刻を早めるにあたり、保護者や地域、教職員から反対の声などもあったと思えます。取り組みへの理解を得るために、いつ頃から説明をされてきましたか。(岐阜地区 小学校)

羽島市は、1つの中学校が令和3年度から土日クラブ化をしています。下呂市は、面積も広い中で市として教育環境整備をされました。きっと、この3年間が勝負になると思えますがここまでの課題、困りごと(これからの)を教えてください。(岐阜地区 小学校)

もし、可能であれば日課表(時間の入ったもの)を教えてくださいとありがたいです。短学活や掃除時間や回数、部活動時間などを教えてくださいとありがたいです。(岐阜地区 中学校)

セルフマネジメントする力の育成について、もう少し知りたいです。(岐阜地区 小学校)

①職員のセルフマネジメントを充実させるための具体的な手立てがあれば、教えていただきたいと思えます。

②学校として取り組まなければならないものがある以上、時間外勤務時間を短縮すればするほど、どこかでしわ寄せがくると思えます。どこにしわ寄せが来ますか。しわ寄せがないなら、どのような対応がなされていますか？(岐阜地区 中学校)

1時間を50分で7時間の日をどうしているのか。(西濃地区 中学校)

16:30下校に統一することに対する、保護者や地域の理解を得ることに困難なこと(否定や抵抗)はありませんでした？また否定的な意見に対して、どのような手順で理解を得るようにされましたか？(東濃地区 中学校)

16:30下校にしたことで、6時間目が週あたり3時間削減されているが時数は足りているのかどうか気になりました。(西濃地区 小学校)

- ・従来の日課表を見直し、16:30下校にされましたが、詳しい日課表(月・木の時と火・水・金の時のそれぞれ)を教えてください。
- ・コミュニティスクールが中心となって、行っている職場体験学習について、詳しく教えてください。①どういう手順で進めているのか②体験期間と時期は③職員の関わり方は④平日の16:30以降に行う時の職員の関わり方は等について知りたいです。
- ・独居老人訪問などの奉仕活動で、生徒が自分でアポイントメントを取り訪問を行う方法について、具体的に知りたいです。
- ・また、中学3年生について、10時間のゆとりで、実際にはうまくいったかどうか教えてください。

以上、よろしくをお願いします。(美濃地区 中学校)

「タイムマネジメントなんて限界が来ている。」という声が自校では聞こえます。具体的によい声かけや提案の仕方があれば知りたいです。(東濃地区 小学校)

意見・感想

令和3年度からの緻密な取り組み、検証に頭が下がります。教頭会の活力を感じました。ありがとうございました。大変勉強になりました。(飛騨地区 小学校)

来年度最終下校時刻を早くしたいと考えている本校にとって、下呂市の発表は大変参考になった。授業時間数、部活動時間の確保等、クリアしなければいけない問題はたくさんあるが、誰とまたはどの機関と連携を図ればよいのか等多くのヒントをいただいた。とりわけ、下校後の生活を生徒任せにするのではなく、探究的な学びや読書など、学校側から生徒にアイデアを与えるという発想は心に残った。(飛騨地区 中学校)

無理と思われることも、各方面への根回しと実現に向けての強いリーダーシップにより実現することがわかった。(飛騨地区 小学校)

本校も昨年度の2学期より下校時刻の見直しを行い、今年度も最終15:35下校としています。このようにした目的は、教職員の働き方改革だったのですが、今日第3部会の発表を聞いて、子供の意識改革にもつながっていることが新たな気づきとなりました。家庭学習＝学校の宿題をこなすということが現状となっていますが、下校後の時間の有効的な活用について指導され、自主的に継続的な研究や制作、作品募集への取り組み等の実践から、新たな方向性をいただいたように感じました。主体的に学ぶ姿を高めるためには、このようなことを積み重ねなければならないととても勉強になりました。(美濃地区 小学校)

本校も、昨年度より10分下校時刻が早くなり、15:40には全学年が下校している。下校後の過ごし方について、児童や保護者、地域等と意見を交流し、その提案を行っていくことは、学校評価で聞こえてくる「宿題以外何を勉強していいかわからない」という子どもの悩みや「家庭学習の方法をもっと指導して欲しい」という保護者の困りを軽減することにつながると感じた。(西濃地区 小学校)

本校は、働き方改革が喫緊の課題なので、見直しの視点を参考にして改革を進めていこうと思いました。(岐阜地区 中学校)

本校でも業務改善を進めていますが、保護者の理解や関係各所の理解を得ることが難しいという判断でなかなか進まないのが現実です。市をあげて取り組まれたおかげで改善されたと思いますのでぜひ参考にしたいと思います。(西濃地区 小学校)

本校でも16時までには全ての活動を終え、生徒が下校できるように、日程の組み替えを行ったり、部活動の保護者クラブ化を行ったりしています。それにより、職員の負担は軽減され、帰宅時間も早まりました。後は、時間のセルフマネジメント力を付けてもらうために、仕事の終了時間を決めて、その中でコントロールできるように進めていきたいと思いました。(岐阜地区 中学校)

北方町は、来年度より義務教育学校がスタートします。それに伴い、小学校職員も部活動を受け持つこととなります。そのことに対して大変不安に感じている職員も多くなります。子育てとの両立、受け持てる部活動がない、小学校の空き時間がない状況で放課後も部活指導を行うと自分の仕事を行う時間がない、などの理由です。

こうした不安を解消しないと、北方町で働きたいという職員が減ってしまうのではないかと心配しています。そうしたことから、この実践をどのように北方町に生かしていけるかよく考えていきたいと思いました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

放課後の業務の時間を生み出すための各学校の努力には限界がある。単位学校ではなく、市全体で統一した取組が大変参考になった。(岐阜地区 小学校)

部活動を実施した上で勤務時間終了と生徒の活動時間終了を固定したことはすばらしいと思いました。かなり苦労して各機関との調整や理解を求めた結果実現したことだと思いました。ただ、部活動を勤務時間内に組み込んだことで、指導者は教師ということになるとは思いますが、外部コーチが指導することは時間的に難しいのではないかと。その場合、専門外の教師が指導するとなると、負担はまだ大きいのではないかと。土日の部活動はどうなるのだろうかと思いました。(可茂地区 小学校)

部活動の活動時間の変更というこれまで課題を感じながらも、取り組めなかった内容を地域・保護者・行政の理解を得ながら進めたことが素晴らしいと思った。(可茂地区 小学校)

皮肉なもので、新型コロナウイルス感染症が流行したことで、思い切った働き方改革が実施できるようになってきている。当たり前を当たり前ととらえず、思い切った改革を実施できている。現任校でも、下校時間を早めたり、会議のある日は、5時間授業にしたり、今まででは考えられなかった改革を行ってきている。下呂市小中教頭会のご実践の中で、「生徒の意識改革」という視点は、素晴らしいと思いました。どうしても、働き方改革は教員のためのものと思いがちでしたが、たしかに、子どもたちにとっても、その価値はたくさんあるように思います。現任校でも、検証してみたいと思います。(美濃地区 小学校)

抜本的に枠組みを変えることをしないと、働き方改革はできないと感じていたが、今回年間16時30分にされたことを聞き、学校現場でできる画期的な取組だと感じた。現状に諦めず、常に改善の視点を持って臨みたいと思った。(岐阜地区 小学校)

年間を通じて中学校の時間を16:30に設定し、それに伴い教職員の働き方改革や、生徒の意識改革を進めている先進的な取り組みを素晴らしい取り組みであると感じた。他地域でも参考にし、地域に合わせたより良い教育環境の整備をしていけるとよいと感じた。(飛騨地区 小学校)

日課を見直すことで、生徒達にも教員にもゆとりが生まれたこと、子どもに向き合う時間が増えたこと、指導の質をあげる努力が素晴らしいと思いました。(東濃地区 小学校)

日課や行事の見直しや、教師・児童生徒の意識改革は、中学校だけでなく小学校でも必要である。以前に比べると随分、業務内容の精選も進んでいるように思う。となると、働きがいがあり、ゆとりを持って働くためには私たち教職員の意識改革も大切である。全ての教職員にとって働きやすい環境づくりの参考にしたい。(岐阜地区 小学校)

日課の変更に合わせて、バスの運行時刻の変更まで実施されたところに地域を挙げて取り組んで見えると感じました。中学生のなかには、部活動をもっとやりたいという生徒がいるとは思いますが、スライドの中に「夜練」という記述があったように、地域クラブが充実していけば、部活動をやりたいという生徒のニーズは満たされるようになると思いますし、それぞれに有効な時間の使い方ができるようになると思います。(東濃地区 小学校)

日課の対応について、全市的に動くことで、足並みが揃い大きな動きとなっています。小学校でも放課後の時間が増えることでかなりゆとりが生まれます。スムーズな対応には、保護者や地域の理解も必要だったのではないのでしょうか。(岐阜地区 小学校)

日課の見直しをし、生徒の活動時間を勤務時間内に収めたのは、気持ち的に教職員が楽になり、働きがいにつながると思った。地域との連携についても、興味深く感じた。(岐阜地区 小学校)

日課の見直しにより、生徒に多くの実践可能な具体的有効活用方法を提案されていて素晴らしい。職員のセルフマネジメント力は一人一人違うので、面談等を活用していくとよいと思いました。(岐阜地区 小学校)

日課などのハード面を変更し時間を生み出すことで内容面が充実することにつながるという参考になる提案だったと思います。(飛騨地区 小学校)

働き方改革を積極的に進めてみえて素晴らしいと思いました。教職員側だけでなく、生徒にとってもよいものにするために様々な手立てを打ってみえることがよく分かりました。とても勉強になりました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

働き方改革を推進するためには、発想の転換を図り、大きな変革が必要だと思いました。また、職員のゆとりがあることで、生徒のために授業の準備等に使うことができると思います。(可茂地区 小学校)

働き方改革を推進するためには、やはり大胆な改善が必要であると感じました。また、子どもの学びや生活の向上という視点で工夫してみえることが、大変参考になりました。(飛騨地区 中学校)

働き方改革を推進し、各種関係機関との調整及び折衝を実施され大改革されたことから多くを学びました。さらに、改革実施後複数の視点(生徒・教師)で調査分析に基づき成果と課題を明らかにされた点も、大変勉強になりました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

働き方改革を進める中で、勤務時間を超えて部活動指導がある現状に、職員からも疑問の声があがっている。今年度から初めて教頭として中学に赴任し、まずは環境整備からとっていただけに、大変参考になった。(西濃地区 中学校)

働き方改革を進めるため、日課を工夫するなどの取組が分かり、本校でも授業時間数など来年度に向けて見直していきたいと思った。(岐阜地区 小学校)

働き方改革を市を上げて取り組んでいる所が凄いと感じました。本校での一層の働き方改革を進めていきたい。(岐阜地区 小学校)

働き方改革を行う上で、何が大切なのか検討していきたい。(飛騨地区 小学校)

働き方改革を各方面に発信し、下校16:30に合わせた教育課程の編成、工夫を行っていることが大変素晴らしい。本地区においても参考にしたい内容でした。(東濃地区 中学校)

働き方改革もすでにできることは出尽くした感がありましたが、教育活動そのものにメスを入れた改革は大変参考になりました。(岐阜地区 中学校)

働き方改革は枠組みづくりが大切であり、活動を量的に減らすためには変換が必要と考えられた。(東濃地区 小学校)

働き方改革は主体的に捉え、具体的に推進するための創意工夫が大事だとあたためて感じました。(東濃地区 小学校)

働き方改革は教員のためでもあります。ひいては生徒のためになることがよくわかる発表でした。16時30分までに生徒が下校する取り組みは本校も今年度から、行なっています。部活動の改革も同時に進められてきたため生徒にとっても教員にとっても、ゆとりが生まれたと実感しています。会議のデータ化も今後は検討したいと感じました。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

働き方改革は喫緊の課題ではあるが、なかなか進まない。それを学校、家庭、地域との連携によって推し進めているところが素晴らしいと思った。(岐阜地区 小学校)

働き方改革は喫緊の課題である。必要と感じたことは、思い切った取組が必要であるということを強く感じた。また、教頭会が一つとなって、強く要望して変えていくことの大切さを感じた。(岐阜地区 小学校)

働き方改革はもちろんだが、生徒や保護者の願いや思いに沿って活動することが大切だと改めて感じた。学校生活や行事の精選は急務であり、他市でも実践につなげていけるとよい。(飛騨地区 中学校)

働き方改革は、私たちの意識改革です。本気になれば、できることがわかりました。16時30分下校を設定して、限られた時間を有効に使うことや、下校後の時間を生徒も教職員も上手に使っていることがわかり、とても参考となる実践でした。時間的なゆとりが心のゆとりになり、心身の健康にも良い影響を与えています。教員は、明るく元気に児童生徒に接することが大事です。きっと、生徒への教育にも良い影響を与えていると思います。(岐阜地区 小学校)

働き方改革は、教師のためだけでなく、裏を返せば、生徒の自律ある生活につながると学びました。(西濃地区 中学校)

働き方改革の有効的な実践例を知ることができ、とても参考になりました。(岐阜地区 中学校)

働き方改革の推進を図っていくためにも、大きな改革をしないとできないと日々感じています。下呂市さんは教頭会だけでなく、校長会や教務主任、事務などとの連携を図りながら実践されていたことが分かりました。早く帰すことにより、生徒の生活が充実したり、教職員の仕事だけでなく、心の面でもよい影響が出ていることも分かりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

働き方改革の推進には、地区としてまとめ、学校・地域・保護者が連携して取り組むことの大切さがよく理解できた。(西濃地区 中学校)

働き方改革の推進における教職員・生徒・保護者へのアプローチ、分析等、推進の在り方(飛騨地区 中学校)

働き方改革の具現に向け、さまざまな関係機関と連携、調整する中で、児童生徒にとっても、教師にとっても、充実した取り組みになっていることがわかりました。連絡調整する教頭先生方のご努力が伝わりました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

働き方改革のための関係機関との連携の取り方。生徒にメリットがあることを示すことで、教師の働き方改革が自分たちにメリットがあることの実感につながったことがよく分かりました。早く下校した後の受け皿として、地域の施設や人材の確保が必要であることが分かりました。地域も子どものためならと好意的に捉えてくださる。そうした意識は、勤務している地域にもあるように思いました。(東濃地区 中学校)

働き方改革に向かうための具体的な方法が大変参考になりました。(可茂地区 小学校)

働き方改革に関わり、帰宅後の生徒の活動保障にまで考えを及ぼしているところが素敵です。教員の視点で考えることが多い中、生徒の視点も考えることは、是非参考にしたいです。(西濃地区 小学校)

働き方改革には思い切りのよさがやはり大切で、抜本的なものに手を入れていく必要を強く感じた。確かに勤務時間より前の活動、後の活動については今まで矛盾を感じていたが、それが学校の仕事だと捉えていたこと自体が問題だったかもしれない。時間短縮だけでなく、しっかり子どもたちの質を高める取組も行っていることが良いと感じた。(東濃地区 小学校)

働き方改革には、日課の改変は不可欠だと感じる。(飛騨地区 中学校)

働き方改革については今日的な課題となっています。中学校では、下校時刻と部活動のかつ同時間に歪みがあり、働き方改革が思うように進まないという実態があります。このような中で、先進的に部活動のあり方を見直し、生徒の下校時刻を早める取り組みを行ってくださった下呂市の実践は、のちに続こうとしている私たちにとってたいへん参考になる取組です。下校時刻を早めることで、学校内外の様々なところに影響が出てきますが、どのような影響があるかよくシミュレーションされ、漏れないように手を打ってみえるところもたいへん参考になりました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

働き方改革については、どんどん取り組んでいっているところですが、やはり、思い切った改革をしていくことが必要だと改めて感じました。しかし、同時に、生徒たちにもゆとりの時間ができ、それをどのように有効活用させていくか、生徒にとって充実した生活にしていくかの指導も課題であると感じました。教員にとっても生徒にとっても有意義な生活を送ることができるように、働きかけをしていこうと思いました。それにしても下呂市の各中学校統一したこの取組は、とても勉強になりました。(西濃地区 小学校)

働き方改革についての課題はたくさんありますが、下校時間の年間通じて、勤務時間内に収める取り組みは、本来の勤務の面から当然のことなのですが、保護者や地域の理解を丁寧にされていることが、実践につながったのだと思います。また、日課等の見直しについては大切な活動を削減することは簡単なことではないと思いますが、より値打ちのある活動を示しながら実践されているところも大変勉強になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

働き方改革と勤務時間の内容の検討、これが教頭会だけでなく、市の関係機関や民間団体を巻き込み、協働してきたからこそ達成できたと分かりました。素晴らしい地域だと感じました。(岐阜地区 中学校)

働き方改革だけにとどまらず、生徒の意識改革にまで踏み込んで実践されているところが素晴らしいと思いました。(東濃地区 小学校)

働き方改革だが、生み出された時間をどう活用するか、方法や場を提案して、保護者や生徒、地域への理解を求めたことがよい。(岐阜地区 小学校)

働き方改革が教師の視点だけでなく、子どもの視点からも捉えており、放課後に生まれた時間を子どもが有効に使えるよう選択肢を示して自己決定させることが大変素晴らしいと感じました。目的を明確に持つことが働き方改革において重要であることを改めて認識できる発表を見せていただき、大変参考になりました。(飛騨地区 小学校)

働き方改革が叫ばれる中、思い切った変更を進める上で大変参考になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

働き改革は私たちのものではなく、生み出された時間を有効に活用するためのものである。ということを変更して再認識しました。働き方改革の主語が今ひとつ納得いかないことが多かったので、とても納得させられた提言でした。(東濃地区 中学校)

当たり前を見直し、地域と家庭の共通理解を図りながらの取組が、参考になりました。(岐阜地区 小学校)

通年16:30下校の実現は素晴らしいと思います。本校でも、日課の見直しや部活動の保護者クラブへの移行等により、下校時刻を早める取組を進めていますが、実現にはまだまだ多くの問題を解決する必要があります。市町村の校長会・教頭会が連携を深め、同一歩調で学校改革を進めていくことが大切であると感じました。(岐阜地区 中学校)

町内をあげての働き方改革への取り組みが勉強になった。また、早く帰った生徒の時間の使い方まで考えているところに新しさを感じた。(岐阜地区 中学校)

中学校勤務経験を振り返ると、果たして勤務時間内の子供の下校が可能なのかと思っていましたが、市をあげて様々な方面での機関が同じ方向に向かって動き出すことによって可能になるのだということがわかりました。保護者や子供たちの好意的な反応が一時的なものではなく、子供も保護者も豊かな人生という視点で、学校の教育課程の工夫や地域全体で、それぞれがそれぞれなりの生き方を考えられるような地域の活性化のモデルを、今後も積極的な情報発信をしていただき学びたいと思います。(岐阜地区 小学校)

中学校教員の時間外勤務時間の縮小にとって、部活動は大きな課題であるとする。部活動の希望加入制や部活動指導員の導入、休日の部活動の地域移行の動きもあり、下呂市の取組を参考にして、部活動時間の見直しを検討していく時期であると思う。(美濃地区 中学校)

中学校の部活動問題を解決しない限り、月45時間は大変難しいと感じています。しかし、下呂市の取組を聞き、教師だけでなく生徒にとってもいかにプラスに持っていくか、多方面に働きかけを行い、実現した教頭先生方の実践が素晴らしいと思いました。余った時間の使い方が職場体験、独居老人訪問等、生徒の実践力につながるもので大変よい取組だと感じました。こうした教頭先生方のアイデア、実践力を参考に、安八郡でも検討していきたいと思いました。(西濃地区 中学校)

中学校の部活動の在り方について、参考になる提案でした。(可茂地区 小学校)

中学校の部活動 16時30分一斉下校の取組は、衝撃を受けました。中学校現場に長く勤めていますが、中学校は部活動後、生徒も職員も下校するので遅くまで勤務することが当たり前と、いわば決めつけていたり、あきらめていたりする部分がありましたが、発表内容を聞いて発想を転換すれば何事も実現することができることがわかりました。(飛騨地区 中学校)

中学校の部活を 16時30分までとするというのは、思い切った取組で素晴らしいと思います。本当に変えていこうと思ったときには、そういった英断が必要なのだと感じました。(岐阜地区 小学校)

中学校の下校時刻にメスを入れ、町として統一で下校時刻を決めたところが素晴らしい。これにより、教職員だけでなく、生徒、保護者も意識が変わった。意識改革には、個々の努力の前に、みんなで揃えて改革することが大切だと感じた。(西濃地区 小学校)

中学校の下校時刻について、妥協することなくこの時間に合わせていく取り組みは、学ぶところが多いと感じました。生徒の意識改革、部活の練習を充実させるための手立てもあり、教育と教員の働き方改革を両立することができていると思います。下校時刻を早くするために、これだけの労力がかかることを知ると、難しいと思ってしまいますが、この取り組みを手本として働き方改革を進めていきたいと思います。(飛騨地区 小学校)

中学校の下校時間の繰り上げについて、丁寧な議論・説明を重ね実践されたことがよく分かった。(飛騨地区 小学校)

中学校にとって16:30に生徒が学校からいなくなるというのは、信じられないことでしたが、下呂市の発表を聞いて、なるほどと感心するばかりでした。教頭会として、校長会、教務主任会、事務部会、バス会社等と働きかけ16:30下校が実現できたことが素晴らしいです。働き方改革において、新しい風を起こすことが重要であることが分かりました。(岐阜地区 小学校)

中学校における部活の負担軽減は、喫緊の課題であると改めて感じた。(東濃地区 小学校)

中学校で部活動を終えても16時30分下校できる、貴重な先進的な実践です。そのための各機関への働きかけ、連携も勉強になりました。部活動だけでなく、生徒も教師も時間を創り出せたことは大きな成果だと思います。(岐阜地区 小学校)

中学校でも16:30に下校できるよう、市共通の取り組みとして教育課程を見直されたところが素晴らしいと感じました。(岐阜地区 小学校)

中学校では生徒の最終下校時刻が遅いことが、時間外勤務が多いことの一つの要因となっているので、部活動終了時刻を夏季にも17時までとしています。(岐阜地区 中学校)

中学校で4時30分下校にして、生徒、教職員ともに成果があったことが、アンケートで検証されていることでよく分かりました。なぜそれが必要かが明確になっていて、また、生み出した時間の活用の仕方まで考えられていて、素晴らしい実践だと思いました。(西濃地区 小学校)

恥ずかしながら、「やればできるのだな」と感心して拝聴させていただきました。(西濃地区 小学校)

地域の実態に応じた課題や取り組みがあり勉強になりました(東濃地区 小学校)

地域の協力を得ながら、教員の働き方、特に勤務時間内に分掌業務等ができる時間を設ける工夫の実践が参考になった。(西濃地区 小学校)

大変勉強になりました。まずは、この取り組みをとおして、普段の教育課程を見直し、授業時数を確保したことに驚きました。また、改めて、教頭の役割として、問題の顕在化、共有、連携(実践)、検証の大切さを感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

大変学ぶことの多い実践でした。また発表自体も、数値を示しすっきりとまとめられていて、大変分かりやすかったです。(可茂地区 小学校)

大胆な日課の見直しを行うことで、子どもにも教師にもゆとりが生まれたことが大変よかったです。下呂市の子どもたちは、放課後の時間を家庭で過ごす習慣があるため、このことが生徒指導問題につながる報告もないため、学力の向上にもつながると感じた。(岐阜地区 小学校)

大胆な取組ですが、生徒の下校を変更することで、教職員の働き方改革につながるだけでなく、生徒にとっても有用性があることに繋がっていると感じました。(西濃地区 小学校)

大きな変革を実行され、素晴らしいと思いました。生徒の下校後については、本来家庭で考えていくことですが、子育てを共にする伴走者として学校も関わっていくしかないとも思います。しかし、コミュニティスクールを通して、徐々に地域へ帰していけるとよいと考えます。(可茂地区 小学校)

大きな改革を、下呂市で一丸となって取り組まれて画期的だと思った。課題はあるかもしれないが、どんどん改善していけばよいと思った。生み出した時間を有効に使う方法が分かったら、また、情報発信していただけるとありがたいし、みんなで意見交流ができるとなるとよいと思った。(飛騨地区 小学校)

全市中学校で、下校時刻を早める事を実現したこのインパクトのある取組は、素晴らしいの一言。成果も具体的に分析されており、全国に発信していただきたい。冒頭の新聞記事を見て、報道側は、教師の働き方改革だけでなく、生徒の家庭生活にもよい影響を及ぼす事を前面に出してアピールしてほしいと思いました。(岐阜地区 小学校)

全国的に見ても先進的な下呂の取組は参考になりました。ぜひ少しずつでも16:30活動終了の取組が広がるといいと思います。(西濃地区 小学校)

全ての方から理解を得ることは難しいため、ブレることなく進めていくことが大切だと学びました。(岐阜地区 中学校)

先進的に動いていると思います。時間に余裕が生まれたこともあると思いますし、さらにチームに活気が出たことと思います。計画や準備に大変だったこと想像できます。心にゆとりができたことよいですが、やはり中学の部活動問題があると思います。これは、文部科学省やスポーツ庁の2者の歩みよりが必要で板挟みになっている現場は大変ですよね。何かよい案がありましたら教えてください。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

生徒は職員の勤務時間内に下校しますが、時間外勤務平均は51時間と45時間以内に届かず、下呂市の取組以上に更に検討が必要であると感じた。(岐阜地区 中学校)

生徒の生活の充実の育成の観点から考えられた教頭の働きかけについて参考になりました。(西濃地区 中学校)

生徒の帰宅時間を16時30分にするという発想が自分の中になかったので、考え方を自分に取り入れて考えてみたいと思う発表でした。教頭会だけで実行に結びつけるのは大変だったと思いますが、校長会や地域、保護者と一緒になって改善された実践が素晴らしいと思いました。私もこれまでの慣習にとらわれるのではなく、どんどん挑戦してみたいと考えました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

生徒の活動終了時刻を年間を通して16:30に固定することについて、下呂市小中教頭部会では、中核的な働きを試みえたことが分かりました。アンケートの結果から、実施したことの成果は確実に得られているように思います。何のために行うのかをぶれずに取り組むことが、いかに大切であるかを感じました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

生徒の活動終了時刻16時30分の取組は非常に興味深く感じました。(岐阜地区 小学校)

生徒の活動時間と職員の勤務時間をリンクさせることはとてもよい取り組みだと思います。時数確保、地域の理解、帰宅後の過ごし方の意識改革など多くの課題を真正面から取り組んで見えることに感謝です。今後も検証をお願いします。(可茂地区 中学校)

生徒にとっても保護者にとっても教職員にとっても、意味のある取り組みだと感じました。ただ、会議等の時間はどのように確保してみえるのかは気になりました。(飛騨地区 小学校)

生徒と職員が自分らしく生きるためにを願いとし、双方に効果があるように、諸機関に働きかけ、16:30下校を実現した行動力やそのご努力に感心しました。(可茂地区 小学校)

生徒と教員が自分らしく生きることを目指した素晴らしい取組である。教員の働き方改革は、喫緊の課題である。日課を見直し生徒の下校を早める事で、教員の業務時間の確保は、実質的な効果を生み出す取組である。一方、生徒の意識改革や地域連携の取組も素晴らしい。学校だけの取組にせず、コミュニティを活用した取組にしているところを学びたい。(岐阜地区 小学校)

生徒と保護者、教員のアンケートにより、確実に成果となっている点から、説得力のある取組だと感じました。部活動の地域移行も含めて、今後の中学校の在り方として参考にしていきたいです。(美濃地区 中学校)

新聞報道される程の先駆的な改革を、どのように進めていったのかがよく分かった。行政や民間バス会社を巻き込む大改革を進めるためには、関係諸機関のトップが本気にならなければ成し遂げられないことが参考になった。(岐阜地区 小学校)

新聞紙面に取り上げられた内容でしか理解しておりませんでした。様々な分野への働きかけや関係組織の動きがあったことを知り、大変勉強になりました。また、教職員、生徒、保護者に対する検証がなされており、皆に受け入れられる業務改善を図られていると感じました。教師も子どもも心身ともに健康に生活するためにも、これまで当たり前とされていた教育環境や教育課程などを見直す必要性を感じる発表でした。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

新聞で読んだとき、とても関心を持ちました。勤務時間を減らすことが目的でなく、下校後の時間を有効活用できるように生徒が活動選択できる仕組みを作ったことが素晴らしいと思いました。池田町にも取り入れたいと感じました。ありがとうございました。(西濃地区 中学校)

新聞でも拝見しましたが画期的な取り組みを推進してみえ、参考になります。本校も日によっては15時から仕事ができるよう日課を改定しました。(岐阜地区 小学校)

新たな方式を取り入れていくと同時に、生徒、教師の意識改革に取り組む話題から、導入する意図やねらいを、しっかりと丁寧に伝えていく必要を学びました。(岐阜地区 中学校)

職員の意識改革と保護者の理解を得ることは、とても難しいことであると日ごろから感じています。下呂市の実践として、平日の部活動短縮がありました。保護者に対して丁寧な説明を継続的に行ってきたのだと感じました。(飛騨地区 小学校)

小川先生、お疲れ様でした。下呂市内の中学校が知恵を出し合いながらこの改革を推進されたことがよく分かりました。小学校としても6年生を送り出す以上は、この改革の主旨や内容をよく理解すべきだと思っています。この動画を小学校の職員も視聴し、市内の教職員みんなで共有したいです。素晴らしい発表をありがとうございました。(飛騨地区 小学校)

小学校で下校時刻の変更をしようと令和3年度に保護者へ提言しましたが、批判が相次ぎました。まだ、教職員への風当たりが強く、自分達の仕事が終わっていないのに、低学年の子供が学校から早く帰ってくることは、おかしいだろう、というご意見でした。10分早くても困るとのことでした。

学校運営協議会に提言しても、保護者の思いを一となかなか進みませんでした。1校のみで取り組むことは、難しいです。市を上げての取組、素晴らしいと思います。保護者も地域も教員の働き方改革に対する見方が少しずつ変わってきていますが、本校は、難しいところがあります。また、中学生と小学生低学年では、それぞれに環境も違うので、中学校が変えたから、小学校も、とはならないのが、地域がらです。(岐阜地区 小学校)

小学校でもさらに、業務の精選をし、日課を工夫することにより、教員だけでなく、子供や家庭にとっても有意義な時間にしていくことが大切だと感じた。また、時間を生み出すことの難しさも感じた。(美濃地区 小学校)

諸課題を解決しながらも、働き方改革を推進していこうと改めて考えていきたい。(可茂地区 中学校)

週2回の6時間授業で大丈夫なのかは、少し疑問があります。コロナの関係で、授業時数が削られたりした場合、補充が必要になりますね。(飛騨地区 小学校)

取組の内容が、具体的に示されており分かりやすかったです。参考になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

主に中学校の教頭先生方が熱心に議論をしていただき、大胆な改革ができていったのだと思っています。本当にありがとうございました。今後もさらに生徒・保護者・教職員等にとって良い方向へ向かうように一緒に取り組んでいきたいと思っています。(飛騨地区 小学校)

実践されたように、そもそもの勤務時間内に児童生徒の学校生活時間を合わせる必要が何よりもまず必要であると思いました。勤務時間外にも児童生徒を「預かる学校」という捉えを改革していくことは大切であり、学校と行政、地域が共通理解をできるとよいです。教師にとって過剰サービスが多すぎると感じていました。家庭のことは、保護者に任せるという考えを持たねばならないでしょう。(東濃地区 小学校)

実際に立案当初に関わっていた者として、より細かくスピーディに進められた素晴らしい実践だったと思います。本校も、「年間下校時刻を30分前倒し部活の時間は確保しつつ」で取り組んでいますが、どうしても夏の時期は6時前にはなってしまう。

今後は「土日の部活動」「地域移行」についても、飛騨地区一丸となって進めていけたらと思いました。お疲れさまでした。(飛騨地区 中学校)

自分らしく生きる子どもの育成と教職員の働き外のある学校とを両立させる実践であり、大変参考になった。学校独自で取り組める内容もあり、参考にしたい。(岐阜地区 中学校)

自分らしく生きる子ども、教職員の働きがいを生み出す取組として思い切った取組を進められていて素晴らしいと思いました。時間を生み出すことで、子どもたちにとっても今まで出来なかった事ができるようになり、研究や体験、地域社会とのつながりなど、自分らしく時間が使えるところが理想的だなと思いました。学校だけでなく地域の方の協力が素晴らしいと思います。また、職員の働き方についてもセルフマネジメントの視点を持って変えようとしているところも勉強になりました。本校の職員にもそんな視点で自己の仕事を見通す力をつけたいです。(可茂地区 小学校)

自校においても働き方改革のハード面・ソフト面共に進んでいるが、日課の大幅な見直しまでには至っていない。そこで、参考になったのは、日課の見直し、行事等を見直しを組織で行い、「こうなるといいな」ではなくて「みんなでやっていくんだ」というところまで進めていくことが大切だと実感しました。また、時間を削減するのみではなく、その時間をどのように使っていくのか、何に使うのか児童生徒も教職員もタイムマネジメントしていく力をつけていくことが働きがい、働きがいにつながっていくと思いました。ご提案、ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

自校でも働き方改革として様々な取組を行ってきたが、これ以上の学校内での勤務時間の見直しには限界を感じることもある。改革の推進のためには下呂市のように行政とも連携し小全体での取組、地域への啓発も必要であると感じる。(西濃地区 小学校)

時間外勤務時間の削減はなかなか難しく、小学校でも児童が下校するのが16時、勤務時間は16時35分これでは、教材研究を始めその仕事のほとんどが時間外となります。早く帰りましょうと声をかけても正直無理だよなと思ってしまいます。その点、市全体で最終下校時刻を定めるのはとてもよい取り組みだと思いました。本校でも、今年度2学期から、日課を見直し、25分ですが最終下校時刻を早めました。職員だけでなく、保護者や子どもたちも、早く下校ができるようになり、下校後の生活に余裕ができたという意見がたくさんありました。ほんの少しですが、自分らしく生きる子どもの育成、そして教職員の働きがいにつながったのではないかと思います。(西濃地区 小学校)

時間を生み出すためには、様々な人たちの意識改革が必要だと感じました。だからこそ、地域が連携し、長期的な取組をしていくことが大切になり、その中心となる組織(教頭会)が大きな意味をもつと感じます。下呂市の先生方をはじめ、携わってきた皆さんに敬意を表します。(可茂地区 小学校)

時間を生み出すことで、教員生徒共に心の余裕が生まれることが分かった。時間の使い方について考えることは、社会に出てからも必要な力であると感じた。(岐阜地区 中学校)

時間の枠を思い切って設定し直す取組は、非常に分かりやすく参考になりました。(西濃地区 小学校)

児童生徒の学校滞在時間と教員の勤務時間のずれは多くの職員が感じていたことで、そこに取組まれたことは大きな意味があると思いました。その中で、16時30分下校はどの学校でも取り入れていきたいことですが、実現するために多くの先生方や組織の努力があり、そこまでしなくてはできないのかとも思いました。地域で取り組むというより、もっと大きな枠組みとして改革してほしいことだとも感じました。(岐阜地区 小学校)

資料の電子DATA化について、賛同いたします。ぜひ、今後も先進的なご活躍を期待いたします。(東濃地区 中学校)

私がとても共感したことは、「時間外勤務の削減・・・根本的な枠組みが整っていない」といった部分です。校長会や教務主任会、バス会社等も巻き込んで、年間を通して16時30分下校とされたことは、本当にすごいことだと感じます。新聞やメディアで取り上げていただいたことで、保護者はおろか、地域の方々にも広く周知ができ、結果的に好意的に受け止められていることが素晴らしいですね。(ある意味、マスコミの効果的な活用とも言えますね。)私にはこのような思い切った断行はできませんが、やろうと思えば根本的な枠組みを変えることができる、という勇気みたいなものをいただけたので、まずは自分の学校で思い切って何かできるのかを考え、行動に移したいと思います。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)

思い切った取り組みをなされていると思いました。市単位で改革を進めているところが羨ましいです。岐阜市は学校数が多くなかなかうまくいきません。学校行事の見直しや日課の見直しなど思い切って進めていかないとなかなか改善されない問題です。(岐阜地区 中学校)

思い切った見直しが必要だと思いました。市全体の問題として考えているからこそ新しい取り組みができたのだと思います。バス通学がある学校というのはなかなか自由がきかないこともありますが、逆にバスの時刻を同じ時間にすることで考えられた策だと思いました。生徒の意識そして教職員の意識が同じ方向に向かってこそ成り立つと思います。ただ、部活動そのものの存続については全ての学校の問題だと思っています。(東濃地区 中学校)

市内全体で共通理解し、16:30下校を実現させていることに興味を持ちました。授業時間を確保し、早帰りを継続させるとどこかにしわ寄せが来そうですが、行事や生徒会活動などの精選により、これが可能となり、皆にゆとりができるのであれば、自分の学校や地域でも考えていくことが重要だと思いました。どこかの1校だけで行うのではなく、市全体で行うということも重要なことだと思いました。(美濃地区 小学校)

市内でそろって取り組んだからこそ効果がある。校長会との連携が上手くできている。(美濃地区 小学校)

市全体の中学校での取り組みに、とても感動しました。昨年度まで勤めていた中学校は、夏の部活動終了時刻が18:30でした。18:45完全下校という学校でした。(鹿児島市です。)毎日とても苦しい思いをした経験があります。ゆえに、問題を根本的に解決できる素晴らしい実践だと思いました。早く下校できるだけでなく、探求的な学習や地域との連携など、様々な活動を斡旋している点も素晴らしいと思いました。(岐阜地区 小学校)

市全体としてダイナミックな改革がされており、本校においても具体的な改善策として参考にさせていただきました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

市を上げての大胆な改革、それを推進するためのしかけや教頭の働きかけを学ぶことができた。教育環境を整え、児童生徒にも教員にもゆとりある生活を生むことで、より良い学び方や働き方、生き方に繋がるのではないかと感じた。(岐阜地区 小学校)

市の教頭会で取り組まれた事が勉強になりました。(岐阜地区 小学校)

市で統一して取り組もうとしてみえることが何よりも素晴らしいです。やはり行政側がそのような対応をしていただけると管理職もありがたいと感じました。(岐阜地区 中学校)

子どもや教職員にとってよいと思われることについて、教頭会のみならず、多くの組織が連携し、推進することの大切さや効果が強く心に残った。これまでの価値観のみにとらわれず、広く、多くの視点から大胆に改革していくことの重要性を実感した。自校においても来年度に向けて教育課程の見直しを進めている最中であり、大変参考になりました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

子どもの育成と指導する教員の働きやすい環境の構築(東濃地区 小学校)

子どもの育成と教職員の働き方改革の両立という簡単ではない課題に果敢に取り組まれた実践から、自校の課題に取り組むヒントをいただきました。(飛騨地区 中学校)

子どもにとっても教職員にとっても、より良い環境となるよう改善が図られているのが、とても素晴らしいと思いました。タイムマネジメントは、教職員にも、これから社会に出ていく子どもたちにとっても、必要なことだと思います。市内全ての小中学校で取り組んだこと、教頭会、校長会、その他関係機関と連携して取り組んだことが、この取組の成功につながったのだと、発表をお聞きしてよく分かりました。また、家庭の協力も上手に求められているのだと思いました。素晴らしい取組も、取り組んでいく中で新たな課題が出てくるものだと思いますが、きっと、また皆さんで知恵を絞り、さらに良いものにされることと思います。今後の取組についても、また発信していただけるとありがたいです。(岐阜地区 小学校)

子どもたちのこと、教職員のこと、取り巻く周りの様々なこと…あらゆることを考慮に入れながら実現していた、素晴らしい取組であると感じました。取組内容に関わって生徒、保護者、教職員にもアンケートをとる等、さらにいいものにしていこうとする方向も見えていました。様々な方面からアプローチされたこの教育環境整備に関する動画を拝聴し、大変勉強になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

昨年度、市で思い切った取組をされたと注目していました。その検証も踏まえながらの研究発表でした。先生方の確実な働き方改革につながっていると感じました。また、市内の連携により家庭の教育の在り方を見直すよい機会であると思います。(東濃地区 中学校)

最初から無理だと決めつけるのではなく、粘り強く取り組めば道は開けることがわかりました。特にバスのダイヤ改正は驚きました。部活動の時間が従来より増えたこともすばらしいです。教師、生徒、保護者の評価がどれもよいという結果が出たのは、本当に素晴らしい取り組みです。(岐阜地区 小学校)

今までの常識(学校が取り組んできたこと)にとらわれず、保護者や地域、社会の理解や協力を得て、思い切った改革を進めることが大事であると思いました。(飛騨地区 小学校)

行事实施後にすぐに次年度の計画案を作成する取組が勉強になりました。その時の思い、感覚(成果と課題)が本質だと思います。それを確実につなげられると思いました。そのスタイルの継続が、働き方改革につながるのだと思いました。(可茂地区 小学校)

校内の教頭だけでなく、教頭会で組織的に改善を進めているところや、他の部会への働きかけをすることで効果的に連携をしているところが大変勉強になりました。また、時間を生み出すだけでなく、その時間の使いまで丁寧フォローしていることが、この改善の値打ちの高いところだと感じました。(岐阜地区 小学校)

校内での改革だけでなく「バス時間の変更」など、校外の郊外関係機関にまで働きかけ、動かしたところに本気を感じました。(可茂地区 小学校)

校長会と教頭会は、管理職会として一緒にして、全員が参加できたほうがよいかもと提案を聞きながら感じました。校長会と教頭会は壁ができそうですが、下呂市ではその距離が近いと感じました。また、勤務時間に部活動まで完結させる試みは、大変賛成です。先生の中でも、4:30以降の時間を有効活用できていないとの回答が約6%ありましたが、その理由には興味があります。いろいろな考え方もありますが、生徒が自分の自由にできる時間をどう使うかは、これからの人生と同じなので、将来にもつながると感じました。(西濃地区 小学校)

校長会が中心となり、市全体が組織的に革新的な改革を進め、本当に素晴らしいと感じた。私自身中学校勤務が長く、勤務時間を超えての活動が最初から日課に組み込まれているのに、働き方改革だから早く帰らなさいという、言葉だけが一人歩きしている状況に腹立たしささえ覚えていた。ある国では、学校、家庭、地域社会が連携し、それぞれの役割の中で、子供達を育てており、働き方改革のような課題はなし。しかし、世の中を変えていく豊かな発想や行動力を持った人材を育てている。近年コロナ禍になって初めて世界に日本が遅れをとっていることが明らかになり、国としての課題が山積みだ。この問題を根本的に変えていくのは教育の改革だと思う。世界に通用する主体的に動くことができる子供の育成を目指すとうたいながら、きちんと管理しようとする学校。この従来の体質を根本から変え、子供が自由な時間を自分の追求したいことに費やせる環境を作ろうとするこの勇気ある取り組みが広がってほしいと思う。そうなったら私たち教師は、子供たちが主体的に考えて取り組んでいく授業を開発していかなければならない。時間にゆとりがあれば誰もがクリエイティブになるわけではなく、主体的に動ける子供を私たちが学校教育の中で育成していかなければならない。教師にもゆとりができればそうしたことにも取り組んでいける。慌てて書いたため乱文悪しからず(美濃地区 小学校)

工夫の跡が感じられる(飛騨地区 小学校)

限られた時間をいかにして有効に使うか。私も、そこに知恵を使っていきたいです。(東濃地区 中学校)

見直しや削減を行うだけの「働き方改革」ではなくて、活動の充実についても十分に配慮した取組を実践してみえ、かなり具体的な内容でとても参考になりました。また、様々な取組を校長会や教務主任、事務職員と連携し協働的に実行してみえ、さらにそれを職員だけでなく、生徒や保護者にも意見を聞いて検証してみえる、素晴らしい取組だと思います。地域と連携した様々な活動もとても興味深いです。(美濃地区 小学校)

県、市をあげての組織的な取組み。提言、提唱でなく枠組みを変えていくことなくして、働き方改革の実現は難しいと感じている。一部の行事見直し、削減ではコロナ後にまた業務が復活していくことが予想される。その意味で下呂市の提案は、学校、地域、家庭が連携して取り組まれており地域の実情に応じ、持続可能であり素晴らしい。特に、生徒の主体性は学校で育てるものという概念から、生徒本人が地域、社会へ働きかけていく場、方途(交流・コンクールなど)を連携して経験値を上げている。自校の学校運営協議会にもこの体制を紹介していきたい。またアンケート結果を数値として変容を公表することで、よりその意識は高まり「わたしの輝き(ひ

とり歩きのための自分)」が充実していくと感じました。こうした体制づくりのために教頭としての役割は何か、そのエッセンスを提案より学ぶことができました。早速に、自校にて実践させていただきます。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

勤務地も統合されることが決まっている。これから、増えてくるであろう学園構想を聞くことが出来てよかった。関係諸機関との連携を学園づくりに向けて行っていることが素晴らしい。また、9年間を見越した系統的な授業を実践できているのがすごい。(西濃地区 小学校)

勤務時間内に部活動を組み込むことで、教員にも生徒にもメリットが出てきているすばらしい取り組みだと感じた。勤務時間を削減することだけを目的とするのではなく、タイムマネジメント力を身につけることにもつながっていると思う。自分の生活を豊かにすること、子どもたちが地域の中で活躍できることなど、さまざまなメリットが生まれていると思う。自分の学校でもなにかできないか、考えていきたい。(岐阜地区 小学校)

勤務時間内に部活動を終えることは本校でも11月から実践しているところです。良い効果が出ているという成果を聞いて、安心して進められます。冬期はこの方法の方が部活動の時間が多く取れることが成果となっていると本校でも感じています。(西濃地区 中学校)

勤務時間内に生徒が登校したり、下校したりするのは理想です。本校でも進めていけるようにしたいと思いました。(西濃地区 中学校)

勤務時間の固定、生徒側の意識の改善が大切であること。(岐阜地区 小学校)

勤務校でも、生徒の活動を勤務時間内に収めるようにしております。これは、放課後の部活動についても行っております。部活動を行う日には、掃除の時間のカットや帰りの会の時間の短縮などを行い時間を生み出しています。生徒にとってもそして私たち教職員にとってもその後の時間を有効利用できることにつながっています。(東濃地区 中学校)

教頭会が中心となり、事務部会を通じてバスの時刻を調整するなど関係機関との連携を図っていることを学びました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

教頭としての働きかけが教務主任や生徒指導主事へと、具体的で的確であると感じました。また、働き方改革と生徒の意識改革を同時に進められていることが大変に参考になりました。教師の働き方改革が、子どもたちによい影響として現れなければ、本末転倒であると思いました。(東濃地区 中学校)

教職員も生徒も、時間のゆとりが心のゆとりとなることはわかっているが、なかなか実践できていない。(少しずつ改善傾向にはあるが)そのような中、今回の提案のような思い切った実践も必要であると感じた。成果も実証されている。そのためには、教頭がまずは意識改革、そのねらいや効果を保護者等に理解してもらえるよう働きかけること、地域や校区の小中学校での連携して動いていくことが必要である。また、コロナ禍でできないことが分かってきたので、来年度にむけて、生徒に力をつけるために必要な行事の見直し等、できることから進めていきたい。(美濃地区 中学校)

教職員の働き方改革は、教師側だけでなく、子供たちにとっても意味のあるものだ改めて感じた。教頭が中心となって具体的な改善や意識の改革をどのように進めてきたかが大変参考になった。(美濃地区 小学校)

教職員の働き方改革について、興味深かった。下呂市の実践を本市においても参考にしたい。(岐阜地区 中学校)

教職員の働き方と子どもの育成のバランス(西濃地区 小学校)

教職員の働きがいについて、考えさせられました(可茂地区 中学校)

教職員の働きがいと勤務時間縮減の両面で考える必要がある課題であると感じた。(西濃地区 小学校)

教職員の働きがいとは、児童生徒の成長を感じる時であると考え。児童生徒が主役となる学校づくりを教職員とともに取り組みたいと改めて実感した。(東濃地区 小学校)

教師にゆとりが生まれることで、これまで以上に自分で業務の計画をじっくり行うことができるようになるので、無駄な時間がなくなり、より一層計画的に仕事を進めることができるようになるのではと思いました。こういった取組が、今後多くの市町村で取り入れられ、業務改善を進めることで、魅力ある職場として、若い世代が

教員になることを選択する者が増えて来るのではないかと感じました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

教師だけでなく生徒の意識、保護者の意識も踏まえた効果的な実践だと感じました。また、16:30 下校は「スタートライン」という所に大きく共感しました。「もうタイムマネジメント何てすることがない。」「人を増やすべきだ。」等、口にする職員がいます。私はまだまだ意識改革できることはあると感じていますが、意識改革がなかなかできず働き方や子どもとの関わり方を変えられない職員もいます。そんな職員への意識改革に向けて、子どもの意識改革と両輪で進めることのよさを学びましたし、背中を押されました。諦めず「自分らしく生きる」を目指し、実践を進めたいと感じました。(東濃地区 小学校)

教師がよりゆとりをもって子どもの指導を充実させる。子どもには、ゆとりができた分を自分の学びを豊かにすることに生かす。そのような働き方改革を進めていくことの大切さを学びました。(岐阜地区 小学校)

教員の働き方改革を抜本的なところに切り込んでいかれたことが素晴らしいと思う。学校の体制を何も変えずに、早く帰りましょうは、無理がある。そもそもこれまで、勤務時間が終わっているのに部活指導があるということ自体に矛盾があった。日本の根性論から脱する良い取り組みだと思う。しかし、地方に行けば行くほどスクールバスの問題がなかなか解決できない現状もある。市町の予算的なところも課題となる。(美濃地区 小学校)

教員の働き方改革を進めるに当たっての仕組みづくり、保護者・地域への説明の仕方など、提案内容の全てが参考になりました。(可茂地区 中学校)

教員の働き方改革は喫緊の課題であり、特に中学校は部活動の関係上なかなか下校時間を早められないという現状があります。それを市全体で取り組まれたことは大きなモデルケースとなると思います。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

教員、児童生徒、保護者とも、大事なことは「セルフマネジメント」であると再確認しました。下呂市の改革は、3者の主体性を育てる取組とも言えると思いました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

教育環境整備に向けて、家庭や地域社会との連携を大切にされた取組が素晴らしいと感じました。参考にします。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

学校単位ではなく、市町全体で共同して働き方改革に取り組む姿勢が勉強になった。もはや、一学校では改革の限界に来てると常々感じています。一つの方略として参考になりました。(美濃地区 中学校)

学校や職員だけでなく、市内統一で取り組むことにより、より成果がはっきり出たのではないかと思います。また、保護者及び生徒、地域とともに共通理解を図ることでゆとりや自主的な姿を生み出したことに、今後のヒントを得ることができました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

学校の特色、実態を考慮された実践だった。類似している実態もあるので参考にしたい。(東濃地区 小学校)

学校の働き方改革は小さな取組の積み重ねでこれまで来ましたが、全市を挙げての大きな改革が為されたことに意義があると感じました。中学校の部活動による勤務時間の延長、致し方のないものと思ってきました。勤務時間と教育課程の擦り合わせ、わかってはいるがなかなか切り込めないところに着手し、そこを各部会との連携で多方面に亘り調整し成し遂げた下呂市教頭会のコーディネート力に頭が下がります。また、これによって生み出された生徒の時間の活用方法についても、生徒に提示ながらともに考えていく。単なる時間の短縮ではない、より良い子どもたちの生き方の指導にもつながっていると感じました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

学校だけでなく地域、保護者の理解、そして連携が大切だと感じました。(東濃地区 小学校)

学校、地域、保護者が連携して思い切った改革をされていた。また実施後のアンケート結果からも成果が顕著だった。できることから進めていきたいと感じた。(美濃地区 小学校)

学び合う職員集団をつくるのが、若手の人材育成につながっている点が勉強になりました。できるかできないか、やるかやらないかだけでなく、やりがいを感じているかどうか、向上心を持っているかどうか働き方改革には欠かせないと思います。そういう点で参考になることが多くありました。(西濃地区 中学校)

各地域の取り組みとして、本県の小中連携の学園づくりや下呂市の下校時刻を繰り上げの統一など、最先端の教育の現状と課題をすることができました。今回の研修動画を通して、それぞれの課題へ取り組む根拠がわかり、具体的にどのように取り組まれたか、成果と課題が分かりやすく、今後の動きが学びができました。(美濃地区 中学校)

各関連機関と連携し、断行したところが素晴らしいと思います。本校も中学校と連携し、日加変更チャレンジしています。(飛騨地区 小学校)

各学校任せになっている働き方改革。市が先頭に立って実施しているため、各学校の教頭としては非常にやりやすいと感じます。そのために、校長会を動かすなど、裏で努力しているところは非常に参考になりました。是非とも、県内各地でこのような動きが出てくることを期待したいものです。(美濃地区 中学校)

各学校や中学校区だけで取り組むと時間も労力もかかる。また、他校の保護者間の情報交換などで、「どうして本校は取り組まないのか」など、やらない学校は努力が足りない等の苦情・評価となり、学校差や地域差によるマイナス面ばかりがクローズアップされ、教師も疲れてしまう。市一斉に行うことで保護者の不満も解消され、安心や信頼につながることがわかった。多数の学校がある岐阜市などで、市教委から降りてくる政策ばかりでなく教頭会発の取組を創出していくにはどのくらいの時間と労力、共通行動ができるのか、実現可能かなど考えさせられた。(岐阜地区 小学校)

学校ごとではなく、市内で統一した活動にしたことが成果を生み出す大きな要因になっていると感じました。統一することは事前の調整がかなり大変だったと推察いたします。素晴らしい取組だと感じました。本市においても、市内で統一した活動を仕組めるよう努力していきたいと感じました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

画期的な働き方推進を図られたのを報道で知りました。地域、保護者の理解を得て、進めていくことが大切だと感じました。まずは、一人ひとりの意識を高めるための工夫と働き方の意識改革を図り、子どもたちに笑顔で対面できるように進めていきたいと思います。(可茂地区 小学校)

火、水、金曜日の6時間目を部活動に充てても標準時間をクリアできることを知りました。やっていないだけで、やってみようとしていないことに反省いたしました。ただ、時間外勤務時間が減らす中での苦しかった点も教えてくださると、さらに勉強になったかと思いました。(岐阜地区 中学校)

何かを削減したり精選するだけでなく、それに伴う不安や問題を想定して、削減したけど豊かになる取組をされていて勉強になりました。地域の方の力も借り、コミュニティスクールの良さが発揮されていて素晴らしいと思います。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

下呂市内中学校の活動終了時刻を16:30にすることは、報道で知っていたために気になる内容でした。働きがいのある学校のために、教頭として、地域として、家庭として、どのように改革や連携を進めるのかが参考になりました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

下呂市全体で教育の環境整備に取り組んで見えることが素晴らしいと思いました。(岐阜地区 中学校)

下呂市教頭会として提言をさせていただきました。中学校だけに留めず、小学校の先生方にも、働き方のセルフマネジメントについて、広く紹介していきたいと思っています。(飛騨地区 中学校)

下呂市の単位で下校時刻を見直したことがよかった。学校単位では難しいことも、市で統一して取り組むことで地域や保護者の理解を得られる。教職員の働き方改革では、学校の自助努力で頑張っているが、このように放課後の時間を確保していただけたことが、教職員、児童、保護者にとってよい結果につながっていることが分かった。(西濃地区 小学校)

下呂市の取組をTV報道(ニュース)で視聴したことがあります。市全体で教職員も生徒も、より充実した生活を送ることができるよう取組を推進しているところが強みだなと感じました。校長会、教頭会、教務、教職員、地域と、志を共有し、それぞれの立場(組織)でできることは何かと考え、縦のつながりでもって組織運営していることがよく伝わってきました。変革を起こすときには、パワーがいること、そして、「働き方改革」を推進するためには、教職員自身が自己の力量を高めていかななくてはならないこと、とりわけ、時間内に分掌をやりきれぬ力量を付けていくことは、どの学校においても喫緊の課題であると改めて実感しました。(西濃地区 小学校)

下呂市の取り組みは大変参考になります。何かを変えることはとても大変でエネルギーを使いますが、「やってみないとわからない。」こともたくさんあります。今までの当たり前を見直すこと…、コロナ禍の中で本校も進めてきたつもりでいましたが、まだまだ改善できていると感じています。本校も月曜日の日課を大幅に変更し、15時半下校を14時40分下校としました。でも、会議や研修があり、職員が早く帰ることができていません。週の真ん中の水曜日も早帰りができないものかと、現在思案中です。何とか実現させたいです。(飛騨地区 小学校)

下呂市の取り組みは大変参考になりました。(可茂地区 中学校)

下呂市の取り組みはテレビでも紹介されており、部活動の工夫による勤務の適正化について参考にしながら本校でも取り組んでいます。県下にとても参考になる先進的な取り組みだと思います。(可茂地区 中学校)

下呂市の取り組みは、報道で知りましたが、教頭会から校長会へ働きかけてから、入念に準備されたものだったと知りました。目的を明らかにし、そのために必要なことを一つ一つ進められたことがわかりました。最後に、この取り組みが「教職員の持っている力を生徒のために発揮するため」とありましたが、勤務時間は短ければいいというものではない、必要な力を付けるために行なっているということを私は十分に働きかけてきたのだろうか振り返りきっかけになりました。(西濃地区 小学校)

下呂市の取り組みが市全体で行われていることが印象に残り、下呂市や教育委員会の本気さが伝わった。こうした取り組みは声だけでなく大きな動きを作ることが大切であり、教頭としてはありがたいことだと思った。(岐阜地区 小学校)

下呂市の実践、わかりやすく発表していただきありがとうございました！(飛騨地区 小学校)

下呂市の下校時刻の取組についてはマスコミでも取り上げられており関心があったが、教頭としてのアプローチについて知ることができ、こうした大きな課題にも教頭が連携することで結果を手にする事ができると再認識することができた。(美濃地区 小学校)

下呂市のこの取組については、テレビでも見たことがあり、全市での実施となると難しい点もたくさんあるのだろうと思っていました。また、学校にとっては良いが、保護者や生徒はどのように感じているのだろうという疑問もありました。しかし、教頭先生方の働きかけもあり、生徒や保護者にとっても、自分の時間を生み出せたり、ゆとりを持って過ごせたりすることが出来るようになっていくことがわかりました。下呂市のこの取り組みが県全体に広がっていくとよいと感じました。(可茂地区 小学校)

下呂市なので、事前にプレゼンを見て、意見・感想は伝えました。(飛騨地区 小学校)

下呂市で取り組んだので、改革ができた。校長、教頭、教務など役割を分担し連携している。発表がわかりやすかった。(飛騨地区 中学校)

下呂市でそろって下校時刻を設定されたことは、新聞等で知っていました。私たちの業務で、「よそは…」「なぜうちの学校だけ…」と言われることを危惧して、前に進めないことがあります。それを市あげて取り組まれたことは大変参考になりました。また、生徒の下校時刻を早めたことが、教職員の働き方改革につながることで、さらに、その具体的な方法をお示しいただき、自校でも取り入れたいと思いました。大変わかりやすい発表でした。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

下校時刻を早める取組は、本校でも行いました。これまでの下校時刻から、最大1時間早めました。その結果、先生方の時間外勤務が減るだけでなく、仕事の効率も上がったように感じます。超過勤務を減らす声かけだけではなく、勤務時間内の時間を教頭が調整することも大切な役割のひとつだと私も感じています。今後は、生み出された時間の中で、いかにして教育効果を上げていくかを考えていきたいとおもいます。大変お忙しい中、貴重な発表をしていただき、誠にありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

下校時刻を早めるために、5つの方法を実施されていることがわかりました。生徒が家庭や地域で充実した時間が過ごせるようにさまざまな提案がされています。保護者の理解を100%にするにはもう少し時間がかかるかもしれませんが、県内の中学校で下呂市の取り組みを導入していけたら、中学校の下校時刻16:30が常識になる日が来ると思います。(西濃地区 小学校)

下校時刻を早めることに肯定的な保護者が多いことに驚きました。教頭先生方の広報活動の成果だと思いません。と同時に、保護者のニーズも時代に応じて変化してきていることが分かりました。(飛騨地区 小学校)

下校時刻を早めながらも生徒の活動を削減せず、生徒・保護者ともに満足度の高い改革を断行できたことは大いに参考になりました。また、市教委、地域、バス会社等多くの関係機関を動かしていくための組織的な取り組みは勉強になりました。(東濃地区 中学校)

下校時刻を早めたことにより生まれたゆとりの時間を、子どもがどのように有効利用するとよいのか、丁寧な説明と見届けが必要であると思った。(東濃地区 小学校)

下校時刻の変更が全県下で進むよう、どんどんその良さを広げていただきたい。(可茂地区 中学校)

下校時刻 16:30 という枠組を決めてから、その中でできる活動を工夫していく取組が大変理にかなっており、まさに働き方改革の根幹となる考え方だと思います。何となくガラガラ続けてきた慣習を見直すことがまずは大切だと改めて感じました。(岐阜地区 小学校)

下校時間を早めるだけでなく、家庭での生徒の生活の充実やバス等の連携など、多岐に渡って市全体で進めていることが大変素晴らしいです。部活動時間や生徒の学びの担保を意識しながら、本校においても勤務時間内の活動を進めていきたい。(東濃地区 中学校)

下校時間を決めて教育課程を再編集すること、4時半下校の周知徹底、教師のセルフマネジメント、それらが相まって働き方改革の実現に結びついていることがよく分かった。「早く帰りましょう」だけで終始せず、限られた時間の中でいかに効率よく務めるか、職員全員が共有し、理解し合うことを大切にしてとりくみたい。(岐阜地区 中学校)

下校時間にメスを入れ、市内統一で行ったことは素晴らしいです。日課や行事を見直す中で、教員にとって働きやすい学校が実現できており、素晴らしいです。参考になりました。(東濃地区 小学校)

下校後の生徒さんの生活の充実に焦点を当てるのが目から鱗。小学校でも考えていきたいと思った。(東濃地区 小学校)

下校後の時間の有効活用のための提案であるが、どこまで、教員が関わっていくかも今後の課題とかを感じました(西濃地区 小学校)

下校後の時間の活用について生徒の意識改革の取組が興味深かった。職場体験や奉仕活動の勧めは、子どもの生きる力につながると感じた。教職員の働きがいをもどのように共有しているのか気になった。(飛騨地区 中学校)

一校ではなく、地域全体で、働き方改革を進める大切さがわかる。部活時間が増えているのに、早く帰ることができていることや、帰宅後の時間を有意義にしたことなど、地域に知ってもらうことも大切だとわかる。(東濃地区 小学校)

一つ目は、問題点を解決するために各部会と連携し、組織的に解決に当たっている点が素晴らしく思い、参考になりました。二つ目は、取組の成果を教師、生徒、保護者の3者の立場からアンケートをもとに分析し、取組を具体的に検証できていることが素晴らしく思いました。(東濃地区 小学校)

意識改革を進めるためには、思い切った改革が必要であること。その上で、周知、協力を得られるように情報発信を行うことが大切であると学びました。(岐阜地区 小学校)

わが校も、早帰り日課に取組んでいます。様々な行事やバス通学者、部活動などの関りから日課が変動的で、落ち着きがないイメージでいます。どのような段階を踏んで日課が安定してきたのか詳しく聞きたくなりました。また、帰宅後の生徒の取組の選択肢がたくさんあって、部活動だけでない自分の可能性の広げ方ができると思いました。(飛騨地区 中学校)

やはり勤務時間内に生徒の活動が終えられることは大切なこと。小学校では当たり前と思うが、中学校でも当たり前になるようにしたい。(岐阜地区 小学校)

やはり下校時刻を見直すなどの思い切った取り組みが必要だと思いました。(東濃地区 小学校)

まず、これまでしかたないと諦めていた、勤務時間内に部活動も含め、全ての教育活動を終えるという教育課程のモデルを示していただけたことに、大変感謝します。全国の学校が下呂市のように、時間もお金と一緒に、限られた勤務時間の中で何ができるかを考えることをしていく事が大切であると感じました。(可茂地区 中学校)

ニュースでみており、大変興味深く視聴しました。勤務時間と始業時間の矛盾はどこ地域でも感じていることであり、そこから、組織的に組み替えていく有り様はとても勉強になりました。継続と児童生徒の今後もぜひ、知りたいと感じています。(西濃地区 小学校)

ただ早く下校させるだけではなく、下校後の活動が地域ぐるみでなされている取組が素晴らしいと思いました。(岐阜地区 中学校)

タイムマネジメントは意識の持ち方次第でどれだけでも工夫できると分かった。(美濃地区 中学校)

すごく斬新な、取組で是非山泉市にも取り入れていただきたい。(岐阜地区 小学校)

この取組で生まれた生徒の放課後の時間を、どう生かすのかが興味がありました。その点も、しっかりと生徒に放課後の使い方の提案がなされていたり、地域がフォローしているのが素晴らしいと思いました。素晴らしい実践報告をありがとうございました。(飛騨地区 中学校)

この実践を自校でも参考にして、保護者の理解、生徒への説明等を経て、後期は生徒を16:30完全下校とし、先生方の負担も減らすことができました。先陣をきって実践していただいた下呂市さんの発表は本当に素晴らしいかったです。(飛騨地区 中学校)

この改革がゴールではなく、ようやくスタートラインに立ったと思います。今後のさらなる働き方改革の推進を図る必要があると思います。(飛騨地区 中学校)

ある程度行政の力が必要だと感じました。学校内の改革は限界に来ています。大きな変革が必要な時、教頭からも提案し、みんなが幸せになるような仕組みを作る必要を感じました。(可茂地区 中学校)

ICTを活用して学力の定着、底上げを図りたい(東濃地区 中学校)

4時半下校を実現するために、多大なご努力があったことを改めて知りました。この大改革によって時間にゆとりが生まれ、生徒も職員もその時間を効果的に活用してみえ、特に生徒が奉仕活動で地域の方とかかわったり、職員がゆとりをもって子どものことを語り合ったりできる時間ももてていることがとても素晴らしいと思います。また、下校時刻が早くなっても、部活動の充実を図るため、短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を工夫してみえることも勉強になりました。(美濃地区 小学校)

4時下校でもうまく回せることに感心しました。実際、苦情やご意見はどれくらいあるのか知りたいところです。(西濃地区 中学校)

4時30分下校に踏み切る勇気がまず素晴らしいと思いました。今、部活動の地域移行の問題が、どの中学校もつき付けられていますが、下呂市のように思いきること、意外と簡単に解決できる課題もあるような気がします。子どもにとって、先生にとって、保護者にとって、、、それぞれの思いを叶えようとする、必ず無理が生じます。今回の取り組みのように、互いが納得できる形をつくるための改善策がとても参考になりました。ありがとうございました。(可茂地区 中学校)

1校で取り組むのではなく、市の教頭会がリーダーシップをとって16:30下校を実現させたところが素晴らしいと思いました。(西濃地区 中学校)

16時半下校に統一して工夫していること。(西濃地区 中学校)

16時30分完全下校という試みは素晴らしいと思います。ただ、公共交通が発達していない地域は、登下校バスの運用について行政との十分な対策作りが不可欠であると感じました。(飛騨地区 中学校)

16時30分下校という具体的な数値目標を自然体で決めて取り組むところが素晴らしいと感じました。その中で教頭がつなぐことを役割として担うところも学びました。(東濃地区 小学校)

16時30分下校が生み出す効果が働き方を始め、生徒の生き方に繋がっていくことが分かりました。小学校でも挑戦したくなりました。(岐阜地区 小学校)

16:30下校を実施するに当たって、学校だけでなく様々な機関が理解を示し協力のもとで実施できたことが大きいと思います。それによって生み出された時間が、生徒、教師、保護者や地域にとってより貴重な時間となるよう、今後も教頭会でコーディネートしていくことができればと思います。(飛騨地区 小学校)

16:30下校を実現するために、課題となることをピックアップし、その解決の方策を様々な組織と連携して考え、クリアしていること。また、生まれた時間をいかに使うかを生徒にも指導していて、ただ単に職員の勤務時間を減らすことだけを目的としないことが素晴らしいし、それが保護者にも受け入れられる要因だと思った。(飛騨地区 小学校)

16:30下校を市内統一で実施するという英断を、校長会や関係機関とうまくつながりながら実施された点は何よりもすごいと感じた。部活動の時間が減るなどのマイナス面よりも、子どもにとっても生活を充実させる面がきちんと伝えられ、全体的に前向きな取り組みとなっている点を学びたい。(美濃地区 小学校)

16:30下校の取組はメディアでも取り上げられて反響を呼んだ。検証されて成果が出ることで先進的なモデルになるとよいと思います。(飛騨地区 小学校)

16:30下校にするために、どの役職がどう動いて実現したかがよくわかった。また、全市一斉に取り組むことで、教務チーム、事務職チームなど協働して動けたのではないかと思った。生徒や保護者へも、早く下校することは時間のマネジメントが目標であることが丁寧に説明されていることも成果につながったと思う。そして、このタイムマネジメントは教職員だけでなく、生徒や保護者たち大人にとっても、人生にわたってライフワークバランスを考えさせる大切な取組だと思った。この下呂方式が県内全ての市町村で取り入れられるようにしたい。(飛騨地区 小学校)

16:30下校とするには、いろいろな面で考えていく必要がある。(地域、校区、外部機関)強い意志を感じました。参考になりました。(東濃地区 小学校)

16:30下校という具体的な目標を立てて、その達成のために市をあげて組織的に動いてみえたところに感銘を受けました。見習っていきたいです。(可茂地区 中学校)

16:30以降に独居老人訪問や職場体験の一部を行っていることが新鮮だった。固定概念にとらわれずに、前向きな行事の見直しや働き方改革を推進していきたい。(西濃地区 小学校)

教職員の働きがいのある学校というテーマは、勤務校において私も大切にしていることなので、興味深く拝見させていただきました。年間を通して下校を16:30にするという思い切った取り組みをされたこと、今後の流れを考えたときに大事な取り組みだと感じました。どのように進めていったかが、視聴動画からよくわかりました。日課や行事の見直し、校長会を絡めたバス会社との連携、生徒や教師の意識改革など、苦勞も多かったことと思いますが、実現されたこと、素晴らしいと思います。また、保護者も含めたアンケート調査も行ってみたいとても参考になりました。本校でも、下校時刻を早めようと考えていますが、特にバスがネックになっています。生徒の通学方法が、徒歩・自転車・スクールバス・自主運行バス・レールバスと多岐に渡っており、なかなか難しいです。でも下呂市さんの取り組みから、様々な方法があることを学ばせていただきました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

「変えられるわけがない」と決め付けず、変革を断行していく強い姿勢と柔軟な考え方に、大変感銘を受けました。その姿勢に学び、自校の教育課程編成に生かしていきたいと思いました。(西濃地区 小学校)

「市内全中16:30下校」は、衝撃的なニュースでした。部活動による時間外勤務に不満はありつつも、当たり前のこととして今まで教員生活を送ってきました。それが、このような取組があると知り、うちの町でも実現できないかと思います。今回の発表をお聞きして、この取組による成果はやはり大きいと思いました。生徒も職員もゆとりをもつことができ、生まれた時間を有効活用することで、いろいろな挑戦や家族との会話も増え、いいことが多いと思いました。しかし、懸念されるのは、標準時数の確保です。わずか10時間の余剰だとかかなり心配ではないかと思います。また、生徒の家庭での時間の過ごし方にも課題は多くあるということで、セルフマネジメント力をつけていく必要性を感じました。

しかしながら、この取組はすばらしい取組で、ぜひやってみたいと思いました。具体的な状況を発表していたことで、詳しく状況を理解することができました。ありがとうございました。(可茂地区 中学校)

「教師の働きがい」は、教師一人一人で違いがあります。子供を育てることの目標は同じでも取り組み方や支援の方法が異なります。今回の取り組みを職場で取り入れながらこれからも職場全体で取り組んでいきたいとします。(飛騨地区 小学校)

「19:00以降の勤務管理表」にねぎらいや体調を案ずるコメントをされていることがすばらしく、真似させていたきたいと思いました。勤務管理表一つとってもやりかたによって、職員の気持ちや意識が変わっていくことを改めて感じ、勉強になりました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

(下校)時間を決め、その中でできることを模索していくという考え方が素晴らしいと思いました。業務を精選しようとしてもなかなか仕事量が減らないのが現状です。思い切って日課を変えることに取り組み、関係機関と連携をとりながら進めている姿勢が新しいと感じました。(西濃地区 小学校)